

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成19年>>

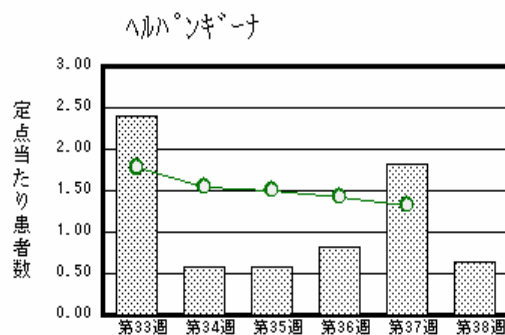
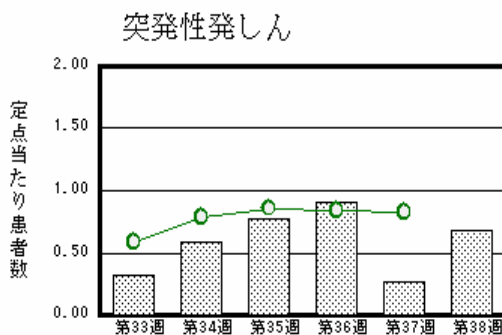
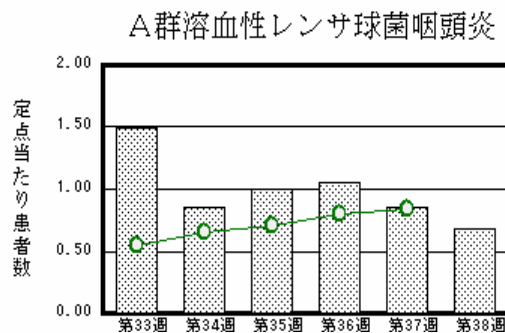
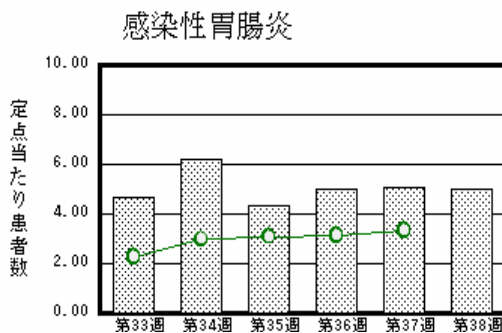
<週報> 第38週 (平成19年 9月17日 ~ 9月23日)

発行日: 平成19年9月27日

発行: 福井県健康福祉部健康増進課
福井県衛生環境研究センター
kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎110名(5.00名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎15名(0.68名) 突発性発しん15名(0.68名) ヘルパンギーナ14名(0.64名) 伝染性紅斑8名(0.36名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(110名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(15名) 突発性発しん(15名) ヘルパンギーナ(14名) 伝染性紅斑(8名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は110名です。定点当たり報告数は減少しました(5.09名 5.00名)。地域別にみると福井地区9.14名、坂井地区8.33名、二州地区3.33名、丹南地区1.60名、若狭地区1.00名、奥越地区0.50名の順となっています。
4. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は15名です。定点当たり報告数は減少しました(0.86名 0.68名)。地域別にみると奥越地区2.50名、二州地区1.33名、福井地区0.71名、丹南地区0.20名の順となっています。
5. 【突発性発しん】報告数は15名です。定点当たり報告数は増加しました(0.27名 0.68名)。地域別にみると坂井地区1.00名、奥越地区1.00名、二州地区0.67名、丹南地区0.60名、福井地区0.57名、若狭地区0.50名の順となっています。
6. 【ヘルパンギーナ】報告数は14名です。定点当たり報告数は減少しました(1.82名 0.64名)。地域別にみると丹南地区1.80名、坂井地区0.67名、若狭地区0.50名、二州地区0.33名、福井地区0.14名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2007年第36週号(9月3日~9月9日)要点

発生動向総覧	<第36週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<腸管出血性大腸菌感染症> 第36週の報告数は147例で、累積報告数は2,982例であった
病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2007年/手足口病患者から検出されているエンテロウイルス2007年/咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス2007年
速報	<今週は該当記事はありません>
海外感染症情報	コンゴ民主共和国でエボラ出血熱流行/イラクでのコレラ流行
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:結核2名の報告がありました。
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成19年 第38週 平成19年9月17日(月)～平成19年9月23日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(37週)
インフル エンザ (32)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを 除く)									469 0.10
小児科 (22)	RSウイルス感 染症	1 0.14						1 0.05	1 0.05	292 0.10
	咽頭結膜熱		3 1.00	1 0.33		1 0.50		5 0.23	4 0.18	830 0.28
	A群溶血性レン 球菌咽頭炎	5 0.71		4 1.33		5 2.50	1 0.20	15 0.68	19 0.86	2521 0.84
	感染性胃腸炎	64 9.14	25 8.33	10 3.33	2 1.00	1 0.50	8 1.60	110 5.00	112 5.09	10048 3.35
	水痘	1 0.14		1 0.33				2 0.09	11 0.50	1255 0.42
	手足口病				1 0.50			1 0.05		2748 0.92
	伝染性紅斑	1 0.14	3 1.00			3 1.50	1 0.20	8 0.36	14 0.64	656 0.22
	突発性発しん	4 0.57	3 1.00	2 0.67	1 0.50	2 1.00	3 0.60	15 0.68	6 0.27	2484 0.83
	百日咳			1 0.33				1 0.05		78 0.03
	風しん									15 0.01
	ヘルパンギーナ	1 0.14	2 0.67	1 0.33	1 0.50		9 1.80	14 0.64	40 1.82	3972 1.33
	麻しん(成人麻し んを除く)									36 0.01
流行性耳下腺 炎	1 0.14		5 1.67				6 0.27	24 1.09	959 0.32	
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎		*	*	*	*				24 0.04
	流行性角結膜 炎							1 0.33		457 0.69
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								3 0.50	9 0.02
	無菌性髄膜炎									30 0.07
	マイコプラズマ肺 炎	1 0.50	*					1 0.17	1 0.17	126 0.27
	クラミジア肺炎(オム 病は除く)									4 0.01
	成人麻しん									6 0.01

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

* 蘭には定点はありません。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成19年第38週 平成19年9月17日(月)～平成19年9月23日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
～5ヶ月		～5ヶ月	1			2										～5ヶ月								
～11ヶ月		～11ヶ月		1		14			1	9			3			～11ヶ月								
1歳		1歳				15		1		6			4			1歳								
2歳		2歳			1	18	1		2				1		1	2歳								
3歳		3歳				10	1						1		1	3歳								
4歳		4歳		2	1	15			2				2		1	4歳								
5歳		5歳			3	3					1		1		1	5歳								
6歳		6歳		1		3			1						2	6歳								
7歳		7歳			4	6							1			7歳					1			
8歳		8歳			4	5							1			8歳								
9歳		9歳			1	3										9歳								
10～14歳		10～14歳			1	5			2							10～14歳								
15～19歳		15～19歳				2										15～19歳								
20～29歳		20歳以上		1		9										20～29歳								
30～39歳																30～39歳								
40～49歳																40～49歳								
50～59歳																50～59歳								
60～69歳																60～69歳								
70～79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計	1	5	15	110	2	1	8	15	1		14		6	合計						1		
前期計		前期計	1	4	19	112	11		14	6			40		24	前期計		1	3			1		
当期間/前期	***	当期間/前期	1	1.25	0.79	0.98	0.18	***	0.57	2.5	***	***	0.35	***	0.25	当期間/前期	***			***		1	***	***
増減数		増減数		1	-4	-2	-9	1	-6	9	1		-26		-18	増減数		-1	-3					

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき